

ピュアライオンズクラブの皆様

炎天下に向日葵がたくましく咲いています。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日は、暑い中「認知症サポーター養成講座」の出前授業をしていただき、ありがとうございました。児童が身近に接するお年寄りは、まだ若く元気な方が多く、初めて知ることが多かったようで、多くのことを学ぶことができた喜んでおりました。また、全員が高齢者体験をすることができたことで、身をもって体の変化や大変さを学ぶことができ、実感を伴った有意義な学習にすることができました。打ち合わせから当日まで、児童のためにと細かいところまでお心遣いをいただいたおかげです。大変お世話になりました。本当にありがとうございました。今後は、障害のある方のことについても学習を広げ、誰もが幸せに暮らせる未来を作るために、自分たちにできることを考えていきたいと思っています。

児童の「ふりかえり」を同封いたしました。拙い内容ですが、ご一読いただければ幸いです。これからも本校の教育活動にご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



順化小学校 5年担任

川畑祥子

ピュアライオンズクラブのみなさん  
ほやねっと不死鳥のみなさん

# 認知症サポーター養成講座 ありがとうございました



順化小学校5年生





# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

お年より体験をして

わかったこと

- ・のりがちが人でしょ
  - ・糸田さんが死んでしま
  - ・昔のことを覚えてい
  - ・自閉症月日がわか
  - ・わかることが多い
  - ・物い人は大切なことを覚えておく
  - ・お年より人は何度もくりかえせば、覚え
- 認知症の話を聞いて覚えられ

わかったこと

- ・お年よりは月が見にくい
- ・体が重い
- ・つがみずらい
- ・開けにくい
- ・だんさかのほりにくい
- ・みじのはしかなか
- ・体を重かじにくい



思ったこと

物事をよくはお話を聞いてお年よりは  
覚えられなかったり、何度も言えは  
覚えられなかったり、何度も言えは  
人は聞いても覚えられないで、さぐ  
てのうかが人が糸田さんが死んで  
しまつた、昔のことばよく覚えてい  
るなど分りました。

思ったこと

はよくはお年より人がこま  
いたり、さぐかがいであじないこと  
行こうとしていたら揺せついでついで  
人しゃなくて、相手の目の前に行つて、  
声をかけたりしたいです。

認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

お年より体験をして

わかったこと

認知症の人はさっきおこたでギミル  
 ちすれしましこと  
 昔のミルをおぼえてる  
 はなしかけるしきは大きく  
 (い)つ



思ったこと

認知症の人にはなかなかにた  
 おぼえなれしあさニはんをたべ  
 たニしすらちされる。こしも  
 あるびょう気。そついう人に接する  
 ときは前か目支ああせてゆ、くり  
 をさね書下しやべるというこども  
 をりました。

わかったこと

足やうてがおもい  
 目がよく見えな  
 つまよくえうとがあげら本たがた  
 歩みにくい



思ったこと

おじいちゃんやおばあちゃんは  
 しつもんかに足がおもかったし  
 歩みにくいんだなと思つた。あと  
 かんじうだもすしあげづらく  
 うまくあげなからたはずしてみ  
 おもさがせむせんちかづておと  
 た。だけてすにしたためしがつた。



# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

## お話を聞いて

わかったこと

- ・人に知らず知らずのうちに、やさしく声をかけると、大きな声でいい
- ・うと良いということ。
- ・昔のことは、お話を聞いているから、そのよさを伝えると
- ・聞くといい。
- ・年をとると、のらりとした感じがして、うかがいにくい、ヨカイ
- ・ギンチャクが短くなるということ。



思ったこと

人に知らず知らずのうちに、意外と昔の話を聞いて、お話を聞いているので、楽しくするたためには、子供時代のころのことを聞くといいと思います。

人に知らず知らずのうちに、お話を聞くと、何回も話しかけても、お話を聞かずにあきらめてはいけない。

## お年より体験をして

わかったこと

- ・とて、いろいろいふことがかきかきあつた
- ・えつと、いろいろいふこと。
- ・送や手紙が、お年よりもくじるといふこと。
- ・目が見えにくくなるということ。
- ・つえをもつても不安なことがあるということ。



思ったこと

お年よりの人は、体が不自由で、とても不安なのを、やさしくせしめてあげたい。

今日のことを忘れず、お年よりにより、お話を聞きたい。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

名前

## お話を聞いて

わかったこと

- ・「記おのつぼ」の、たくせんあ、た手が重くなくなり、情報を「つぼ」に入れられなくなると知った。
- ・糸ぼうが死んでしまった認知症になると分かった。
- ・昔のことをともおほえしていると知った。
- ・認知症でも、「大丈夫だよ」と言え、分かってあげることが大切だと知った。
- ・同じことを何回も聞かれても、同じことを何回も答えてあげることが大切だと知った。



思ったこと

家族で認知症にならなう、たおほい、ちんおほあらんがいたら、今日の講座で習ったことをいかし、やさしくいたわり、サポートし、分かってあげたいです。また、他の人にもこの講座で習ったことを教えたいです。そして、みんなが認知症サポーターになれるよう、がんばりたいです。

## お年より体験をして

わかったこと

- ・足や手がとび重かった。
- ・ひじやひざがまからず、足や手を上げにくかった。
- ・広いはん囲が見えなし、とアをほやけて見える。
- ・たんさが分かんない。
- ・物をつかみにくい。
- ・ふうとうの中の紙を開きにくい。



思ったこと

私は、おほい、ちんおほあ、ちんとははなれたところに住んでします。だから毎日お世話をできるわけはないです。けれど、私はメールでやり取りしているので、応えんしたり、大丈夫が聞くことはできます。なので、できるかぎりで「メールでお世話をしたいです。」



# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

## お話を聞いて

わかったこと

- ・お年よりになるとうのさいばりが消えるということ。
- ・目が悪くなること
- ・耳がとぶくなること
- ・うのさいばりが消えて認知症などにならたりすること



## お年より体験をして

わかったこと

- ・ほたの水がぬけて、糸紙などぬぐたりするのがやりずらいこと。
- ・体が悪くなること
- ・みし・みさや曲げにくくなること
- ・あまリ目が見えにくいこと



思ったこと

お年よりになるよ、認知症は長はがったり、わがい人エリを、痛氣になりやすことを知って、今、サポーターズに夢をつけてほしいと、より悪いました。なので、これからは、おし、あやや、おはああや人に、のこを喜んで、氣をつけてほしいし、まだまだ死んでほしくないのよ、サポートなをいたいです。

思ったこと

意外に、目がすごく見えはがったよ、でいびせが二人はに、曲げづらことも知って、より悪いましたし、わが木せかけたよきは、遠の所にいる友達も見えなつたので、年をとりたいたんだいね、悪いました。でも、年ほるも人なんで、お年よりになるた、氣をつけたいです。あと、お年よりになるよ、体馬金以上につらいいと思ふので、お年よりにたいてす。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

わかったこと

- ・認知症の人にはやさしく、ゆっくりはきはきとしゃべる  
(抑えやすいこと)
- ・*じかん*
- ・*物事*
- ・*新しいこと*



思ったこと 認知症の人には「大丈夫だよ」とかやさしくか、はきはきしゃべること、すぐカッとなって怒らずにすること、が大事だと思います。他にも新しいことが忘れやすいし、あとは全て得意でさなしいと思ってる身のおわりをすることを、Xと初めてしまいました。全部やた方がいと思、たけど、びくびくしました。

お年より体験をして

わかったこと

- ・ひざやひじが曲げづらかった。
- ・たんこが、ちとわかりづらかった。
- ・目がみづらかった。
- ・ふうとうが高けづらかった
- ・重かった。(足や手くび)



思ったこと お年よりで、こんなに大変なのは知りませんでした。防具みたいなをはきおわったら、ずいぶん軽くて、らくに、足やひざやひじがまげやすくなつたし、すともう、ごかしすからかったです。目が見えづらく、ほとんどみえなかつたし、ぼやけてて、ちよと怖からたので、まっえをとるのが一番大変でした。むざも曲げられななし、かじも曲げられななし、するることできなくて、大変でした。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

お話を聞いて

わかったこと

- ・認知症は脳の病気
- ・志が強い例、朝ごはんを食べたこと、新聞を配る(目)
- ・心づかう人のような量の接し方を、(認知症)が(目)に(言)
- ・
- ・
- ・



思ったこと

私は認知症に体が悪くなったり、  
 痛気だと思いたいけど、今日の講座で頭  
 の痛気だし知れて流しがたてまじかも認知  
 症への接し方がよくて教えてもらったので  
 認知症の人が分からなくても後から  
 やらないなど見守るなど見えていた人の  
 生活の知恵として使っていました。

番号

74

名前

お年より体験をして

わかったこと

- ・お年よりは体を重かかすのに重みがある
- ・お年よりは視力がおち見にくくなる
- ・お年よりは個人が、だんさんからまじいた(転入)
- ・だり(転入)が、だんさんからまじいた(転入)
- ・
- ・
- ・



思ったこと

お年よりは体種かかすのは痛いだけかと  
 思っていました。しかし痛というより重いと  
 感じてびっくりしました。自分なるので  
 少し重いな気がして、今ど今の内に  
 体を思いのまゝ動かして、きつたけ  
 工事から重くならないようにして、みなに  
 できるようにしたいなと思いました。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

お年より体験をして

わかったこと

- ・お年よりになると、耳が遠くなる。
- ・「きおくのつぼ」にある「イヤイヤ」の音が小さくなる。
- ・認知症になると、イヤイヤの音がほんと動かなくなり、認知症が進んだ人は、きおくのつぼに入っていた大切なきおくも消えてしまう。
- ・時間や月日場所、もとの認知症が進むと人が



わがらなくなる。

思ったこと

わたしは、認知症になるかは、わからないけど、お年よりになるのは本当だから糸色村にどこか、悪くなると思います。だから今のうちに今日習ったことを覚えてお年よりになった時に生かせるの良いなと思います。

わかったこと

- ・関節が曲げにくい。
- ・目の見え方が下がる。
- ・足が重くて、あげにくい。
- ・力がないと、まっすぐに進めない。
- ・物が取れにくい。



思ったこと

わたしは、お年よりになると、こんなには、足が重くなったり、関節が曲げにくくなるんだなあと思いました。特に、わたしの家は、階だんがとて多いので、おじいちゃんやおばあちゃんの荷物を持ってあげたりして助けてあげたいです。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

お年より体験をして

わかったこと

- ・より詳しく話が大事
- ・目線を合わせて話す
- ・お年よりの方が「にんちん」うにかかりやすい
- ・
- ・
- ・



思ったこと

あたしたちがお年よりの方にもとより  
 りそって手伝たがよろと思いました。  
 お年よりになつたらこの学習をい  
 たいです。もしぼくが「にんちん」にな  
 たらいいがしたいです。

わかったこと

- ・目がよくみえない
- ・あしがおもいにくい
- ・ひざがまげにくい
- ・
- ・
- ・



思ったこと

お年よりの方はほんとに大変だ  
 とわかりました。実さいにやってみ  
 て、みるのは、けつ、こうたいへんだった  
 しづらかったです。





# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

お年より体験をして

わかったこと

認知症の人への接し方が7つあるというところ  
 認知症の人はわすれっぽいところがある  
 高れい者の人は、病気に気が付かずに  
 ひきかかしていかせていく  
 目が遠くなる  
 近い物も見えづらくなる



思ったこと

認知症の人と話すとき、「おそろかせない急が  
 せないバビをきすアアない」この3つを気を付けた  
 いてす高れい者の方は、耳が遠くなるので、はきは  
 きと大きな声で、「おだやかに急がせず」に話して  
 安心させてあげたいなと思います。物が落ちて  
 しまつたら高れい者はしゃがむのが苦手と知  
 りて、捨てるあげたいです。

わかったこと

手のあぶらがなくなると（ふうとうビニールぶくろか）  
 あけにくくなる。  
 だんさもみえづらくなる。  
 手足が重くばりしやがむのも大変。



思ったこと

私は高れい者の人は、毎日足が重くなつた  
 り、だんさ階談などのツカ見えづらくなつたりと  
 ても不安な毎日なのに、町を見回すとおじい  
 さんやおばあさん（高れい者の人）がたたくさん  
 いるので、自分の出来ることがあれば、何  
 か手伝えてあげたいなと思いました。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

お話を聞いて

わかったこと

- ・ 音の事は良く覚えていたけれど、音のたしを覚えていたというところをおぼれる。
- ・ エオクのインゴニチウが短かくおぼれる。
- ・ 手紙の物をおぼれる。



思ったこと

お年よりはエオクが昔よおぼえていたけれど、さうの事を覚えていたよ、という事を覚えていたよ、という事を怖いよ、と思って思いました。ほあ、このインゴニチウという言葉を初めて聞いた、最初は、何の役に立つのかわからないよ、思っていたけれど、人が物事を覚えるのは、さあ、インゴニチウが大事だと知りました。

番号

名前

お年より体験をして

わかったこと

- ・ こぼれおぼれにくく
- ・ 目の前にくく
- ・ 紙のむにくく
- ・ 体が重い



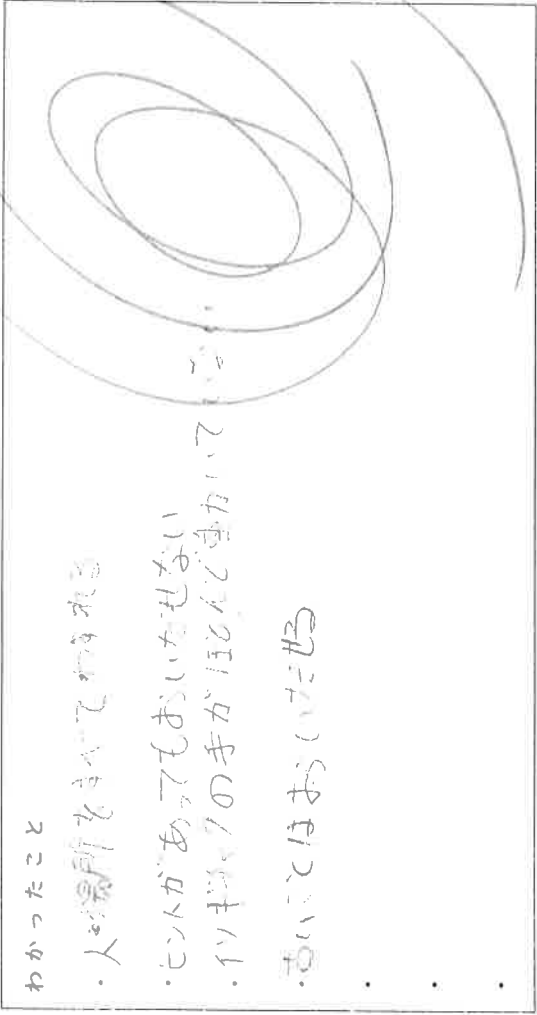
思ったこと

お年よりは、おぼれにくくない、見えるものが黄色になった気がした。サポーターをつけてたときは体が重かった。だけども、おぼれにくく、体が軽くなった。

お話を聞いて

わかったこと

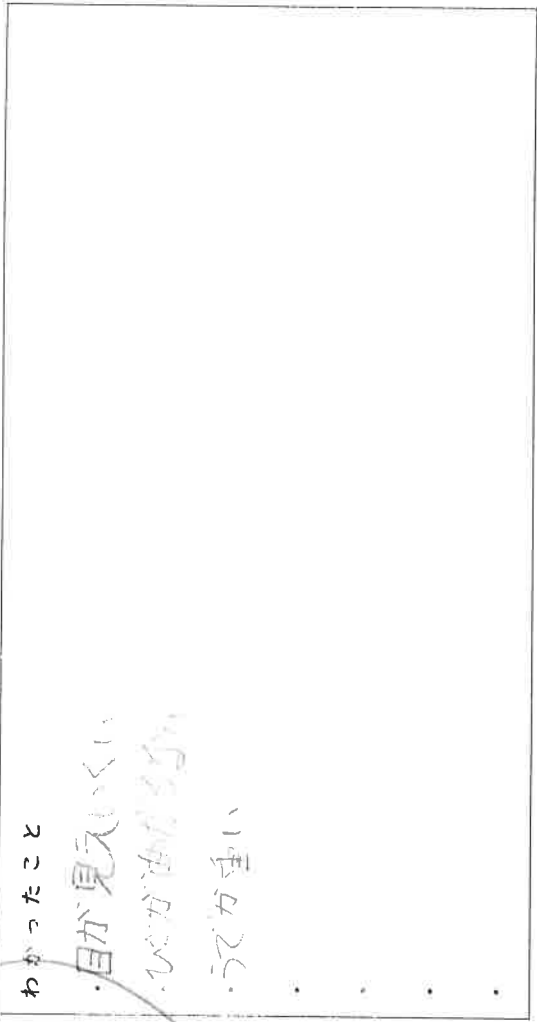
- ・人の場所をまよってわかる
- ・ヒントがあっても思い出せない
- ・イヤホンがの音がほとんど重かいて
- ・音はよくは聞こえない



お年より体験をして

わかったこと

- ・目が見えにくい
- ・びびりが多い
- ・うでが重い



思ったこと

認知症になるとわかるとはしてはいました。でもまだまだいいことは、教えられたときだけ(特に)に(か)てきないの(か)意外でした。(教えられたいは、2月ぐらいもつと思ったので、びっくりしたという意味です)。自分にも認知症になるはずは必ず(か)た(か)の(か)や(か)の(か)だ(か)と思(か)って(か)い(か)ました。しかし、(か)る(か)は(か)自分(か)で(か)や(か)る(か)と(か)知(か)る(か)て(か)お(か)ど(か)ろ(か)ま(か)した。



思ったこと

ほくはお年よりだけ(か)い(か)て(か)一番(か)こ(か)わ(か)った(か)のは(か)目(か)が(か)見(か)え(か)にく(か)い(か)なる(か)や(か)め(か)る(か)こと(か)です。ほ(か)く(か)に(か)も(か)び(か)び(か)り(か)た(か)こと(か)が(か)あ(か)り(か)ま(か)す。それは(か)び(か)び(か)が(か)曲(か)が(か)ら(か)な(か)い(か)こと(か)も(か)ほ(か)く(か)も(か)お(か)は(か)あ(か)ち(か)ん(か)から(か)び(か)び(か)が(か)曲(か)な(か)い(か)い(か)ら(か)い(か)て(か)い(か)た(か)り(か)けん(か)を(か)こ(か)ん(か)な(か)び(か)さ(か)が(か)曲(か)な(か)い(か)とは(か)思(か)っ(か)て(か)び(か)び(か)り(か)ま(か)した。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

わかったこと

- ・人に知しやうの人はこうなる!!
- ・元気がなくなる
- ・叱のをとられたらと思いにむ
- ・時間や月日かわかからなくなる
- ・場所がわからなくなる
- ・人が分からなくなる
- ・考えるスピードがあそくなる
- ・新しい機械が使えなくなる

言葉を立てられない  
馬鹿おりにひまなくする



思ったこと

私の祖母も人に知しやうでした。本当に今日学んだことがおきました。いつもやさしくしてくれたおばあちゃんが変わっていったのでさみしく思いました。これからは、人に知しやうの人の話しをきいてあげたり、やさしくしてあげたいです。パンフレットのさいごのページのようには、みんなに人知しやうの人をさえたいてす。おまわりの人に人知しやうの人がくるんだら、みんなが悲しんだらいいから、裏がでます。たすい。

お年より体験をして

わかったこと

- ・とても目が眩がらい(ろうが義)
- ・体がおもい(たんだいであしがひ、かかてこんで大ケカをする)
- ・むせる
- ・シワがあおくなる
- ・ものわすれ
- ・耳があおくなる
- ・白がががふる

・せがちがむ



思ったこと

実際に体験してみてもびっくりしました。私はさいし、身長がちがむから、かみいのがなごと思、たけ、実際祭やてみて、逆におもひたです。今調べてたりしたら、

- ① むせる
- ② 白ががふる
- ③ たんだいこんで大ケカする
- ④ とうがん
- ⑤ ものわすれ

などがありました。みなにたいへんたすいと思、ました。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

お年より体験をして

わかったこと

- ・認知症はたれても起こる脳の病気で、いまの日本は、ちやうど高れい社会になり、高れいの人の数かごとくも多くなっている。
- ・認知症は、脳の細ほうがなく、脳梗塞として起こる。
- ・脳の細ほうがなくなると、さまざまなたんこ病が起る。

・私たちがお母さん、お父さんの時代になる頃高れい者が多くなる。



わかったこと

- ・お年よりの足、手とかの大変さが分かった。
- ・私たちが何人でも身軽にできるけど、お年よりは、何をやるにも大変だった。
- ・支えてくれる人が絶対必要だと分かった。
- ・少しのたんこ病でも危なかったり、とても危険で怖いと分かった。



思ったこと

失敗した時に、責めたり、怒ったりするのはなく、大丈夫だよ、などの優しい言葉をかけ、安心させたり、一緒に支えてあげると、症状の改善につながると思いました。秋のおじいちゃんも少し悪れたりしている時、責めずに、一緒に支えてあげられるようにしたいなと思いました。

思ったこと

お年よりは、足や手などがとても不自由で、目も耳も悪くなって少しのたんこ病や、細かいことをするのは、とても苦手で怖いと思いました。だから絶対に一緒に過ごさず支えてあげた方がいいと思う人が必ず来たと思います。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

お話を聞いて

わかったこと

- ・ 認知症は脳の病気です。
- ・ 認知症は誰でもかかる可能性があります。
- ・ 認知症は予防できます。
- ・ 認知症は治療できます。
- ・ 認知症は介護できます。
- ・ 認知症はサポートできます。



思ったこと

早くから6時間目をとおしては  
よいことかと思うけれど  
こまめに休ませることも大切  
だとおもいます。

お年より体験をして

わかったこと

- ・ お年よりにもいろいろな悩みは  
あるから聞いてあげることが  
大切だとおもいます。
- ・ 聞いてあげるといいですね。
- ・ 聞いてあげるといいですね。
- ・ 聞いてあげるといいですね。
- ・ 聞いてあげるといいですね。
- ・ 聞いてあげるといいですね。



思ったこと

お年よりにもいろいろな悩みは  
あるから聞いてあげることが  
大切だとおもいます。  
聞いてあげるといいですね。  
聞いてあげるといいですね。  
聞いてあげるといいですね。



# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

お話を聞いて

わかったこと

・ほとんどの人はわかるといって聞かなくていいから大丈夫

・認知症は脳の細胞が死んでいく病気

・認知症は脳の細胞が死んでいく病気

・認知症は脳の細胞が死んでいく病気

・認知症は脳の細胞が死んでいく病気



思ったこと

認知症は脳の細胞が死んでいく病気

認知症は脳の細胞が死んでいく病気

認知症は脳の細胞が死んでいく病気

認知症は脳の細胞が死んでいく病気

認知症は脳の細胞が死んでいく病気

認知症は脳の細胞が死んでいく病気

認知症は脳の細胞が死んでいく病気

認知症は脳の細胞が死んでいく病気

お年より体験をして

わかったこと

・手足が自由に動かさない

・「悪く」悪い

・「アサカ」してほしい

・

・

・

・



思ったこと

お年よりの人は手足が思うように動かさず、いろいろ大変さうが、とても悪く、たまにはお年よりの人にやさしくしてあげようと思いました。

お年よりの人は手足が思うように動かさず、いろいろ大変さうが、とても悪く、たまにはお年よりの人にやさしくしてあげようと思いました。

お年よりの人は手足が思うように動かさず、いろいろ大変さうが、とても悪く、たまにはお年よりの人にやさしくしてあげようと思いました。

お年よりの人は手足が思うように動かさず、いろいろ大変さうが、とても悪く、たまにはお年よりの人にやさしくしてあげようと思いました。

# 認知症サポーター養成講習を受けて

お話を聞いて

わかったこと

- 頭の能が小さくなってしまふ
- 糸田ぼろがなくなってしまう
- こしがいたくなる。
- ひざ、うでがいたくなる
- せが低くなる。



思ったこと

ぼくが脳が小さくなってはあつても聞いた時  
どりはだが立つ！まじこちがったです。  
ぼくは、この世の中は甘くないんだなと  
思いました。そして、こんな風になりたくな  
らないために、脳を働かせるとするために、よく  
勉強したいです。

番号

名前

お年より体験をして

わかったこと

- 目が赤んで足元が見えない
- 「み動きがとれづらい
- 物を見よとしても顔を近づけないと見えない。



思ったこと

目が見えづらくなると、名前、商品の  
名前が見えづらくなるし、こけたり  
してけがをしてしまったりしてしまう  
ので、お年寄りになるのはおぼやかしい  
ました。そしてこのようになりたくないの  
で、毎日1回位は、運動をしたにいてです。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

番号

名前

## お話を聞いて

わかったこと

- ・ お年寄りにはやさしく接する。
- ・ 話をするときには、ゆっくり、大きな声で話しかける。
- ・
- ・
- ・
- ・



思ったこと お年寄りには、「おどろかせない」「急がせない」

「心をきずつけたくない」ということが分かりました。

認知症の人に出会ったり、笑顔でお話したいです。

## お年より体験をして

わかったこと

- ・ お年よりは体にも頭にも不便な所がある。
- ・ 視界がせまくなったり、歩みにくくなったりする。
- ・
- ・
- ・
- ・



思ったこと 杖は、杖を持って歩いたり、重りをつけてたり

して、お年よりの人はいつもこんな生活をしているんだ  
なと思いました。そして、自分が今歩いたり、

本を言えんだけできることは、うれしいことなんだと

感じました。周りの人が音認知症になっても、ずなにおに

受け入れて、手助けしたいです。

# 認知症サポーター養成講座を受けて

お話を聞いて

わかったこと

- ・のうは、としをとるとさいぼうの**一部**が死んでしまうことがある
- ・子どもやわかいい人にはいそぎんちや**おたにい**など
- ・手がある、必要のない**ほう**だけを**フ**ほにやる
- ・にんろしほうの人はいそぎんちやくみたいな**手**がほ
- ・とんとなくなつてしまい、日にちや朝**う**ごぼんはべ
- ・たっけ?のよう**な**かんじに**な**すしまう
- ・大きな、ほ、もりとした声でお年よりに**話**してあげる。



思ったこと

わたいは、人にむかしてはずかしくって、おんま、声をかけたことか、おたにいと、これからほきちんと言おうと思いましたが、のうの一部のさいぼうが死んでしまつて、にんちしほうになる、ていつのは、認知症という言葉は知つていたけれど、はじめで知りませんでした。そしてのうには、ま、おおくの**フ**が**あ**つて、認知症の人たちは、ま、おおくで、ま、いこと**か**わ**り**ました。

番号

名前

お年より体験をして

わかったこと

- ・めがよく見えなくなり、黄色だった。
- ・足がよくまがらない。
- ・つえにとらしてまたよる。
- ・でもだんごとかで、みん**な**よとか自分もすいすい
- ・ほとでもな**い**けと**い**けた。
- ・足を少しひきずった。
- ・ふうとうが**開**け**づ**ら**か**つた。



思ったこと

おとしよつて、足も**あ**ま**り**ま**が**ら**な**い。うでもまがりにくくて足をひきずつてしまいました。目もよく見えなくなつて、ぼん**と**にこ**な**うにみえているのがな**と**ま**も**人**と**にこ**な**くるほ**と**でした。フ**ス**が**な**い**人**は、こ**ま**つて**し**ま**う**の**か**が**な**と思**い**ました。これからは、困**つ**て**い**る**人**が**い**たら**た**す**け**て**あ**げ**たい**な**と**思**い**ました。